

魚つり

御津南部小・4 榊原 利修

夏になった
つりに行く
お父さんと
つりに行く

お父さんは
つりが好き

魚がくいつき
ぶるつとなるのが好き

糸をたらして
海をながめる

「おっおっ」

魚がつれる

「魚が来てくれたんだ」
本当かな

うきを見ながら考えた
魚はどう思っているのだろう
悲しい うれしい なんだろう
うきはまだ動かない

エサはあるかな
もう食われていた

エサを付けながら考えた
エサだって生きている

エサはどう思っているのだろう
ハリにさされ

海にしずめられ

魚に食われ

運がよければにげられる

悲しい うれしい なんだろう

考えていると

ぼくの目の前を

フナムシがカサカサッと横切った
あいつは何を思っているのだろう
あのトンビは あのウミネコは…

あつそうだ 今はつりの時間
またピクピクッとうきが動いた